

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	慰霊友好親善事業		担当部局庁	社会・援護局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成3年度		担当課室	援護企画課外事室		山口 昌巳		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅶ-5-2 戦没者の遺骨の帰還等を行うことにより、戦没者遺族を慰藉する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成24年度遺骨帰還等派遣費の国庫補助について (平成24年4月5日厚生労働省発社援0405第19号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	先の大戦における戦没者の遺児に対する慰藉の一環として、戦没者の遺児が、亡き父の眠る地に赴き心ゆくまで慰霊追悼を行うとともに、現地の人々と戦争犠牲者の遺族という共通の立場で友好親善を図り、相互理解を深める。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	先の大戦における戦没者の遺児が、旧主要戦域を巡拝し、戦没者の慰霊追悼を行うとともに、旧主要戦域の関係者との友好親善のための記念事業(教育施設への学用品等の寄贈、公共施設等の清掃、現地戦争犠牲者との交流会、記念植樹)を行う(定額補助)。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	315	272	272	272	272	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	315	272	272	272	272		
	執行額	312	272	272				
執行率(%)	99	100	100					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	慰霊友好親善事業実施回数			回	14	17	16	17
			達成度	%	100%	100%	94%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	慰霊友好親善事業実施回数			回	14 (14)	17 (17)	16 (17)	— (17)
単位当たりコスト	17,000,000(円/回)		算出根拠	H24予算執行額272百万円/H24活動実績16回				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	遺骨帰還等派遣費補助金	272	272					
	計	272	272					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	遺骨帰還の取組は国の責務で行うものである。本事業は戦没者遺児の要望を受けて創設された事業であり、ニーズが高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国で実施要綱を定め、民間団体への補助事業として実施している。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	海没遺骨や相手国の事情等から遺骨帰還ができない地域の戦没者の慰霊や関係族の慰藉するものである。未だ113万柱もの遺骨が帰還していない状況下で優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	事業の趣旨及び遺族の心情を深く理解し、事業の遂行にあっても誠実に実施できる団体に補助を行うため、公募により選定を行っている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	参加者の範囲を戦没者遺児に限定するとともに、一定の自己負担を求めると、適切に実施されている。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	事業実施地域の物価上昇などに対応するため、事業計画や経費の見直しを行う等、コスト削減に努めている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業実施にあたり必要なものだけに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業を効果的に実施するため、事業の趣旨及び遺族の心情を深く理解し、事業の遂行にあっても誠実に実施できる団体を公募により選定して実施している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	概ね当初見込みどおり実施できている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>本事業は概ね当初見込みどおり実施できている。引き続き必要な経費を精査し、適切な慰霊友好親善事業を実施していくこととする。平成23年度より、可能な限り競争的な選定となるよう補助金の交付対象を公募により選定する方式へ改めている。</p>				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き必要な予算措置に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	—				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	463	平成23年	421	平成24年	367

【平成24年度実績額】

厚生労働省
272百万円

【補助金】

A 一般財団法人日本遺族会
272百万円

参加者旅費、現地交流会、
記念事業経費

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

A.一般財団法人日本遺族会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	参加遺族旅費、引率旅費	177			
借料及び損料	車両借上等	35			
消耗品費	教育施設寄贈品、交流会開催、追悼式用品	32			
雑役務費	通訳、添乗員雇上	23			
賃金	賃金職員経費	3			
その他	通信運搬費、印刷製本費	2			
計		272	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人日本遺族会	現地交流会、祈念事業の開催	272		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					